

# 行政視察報告書

<b>1. 委員会または会派等</b> 広報広聴委員会 広報部会
<b>2. 視察期間</b> 令和2年1月23日の1日間
<b>3. 視察先</b> 山口県山口市
<b>4. 視察項目</b> 議会だよりのリニューアルについて
<b>5. 参加者</b> 〔委員（議員）〕 島野 知洋、森 竜子、山田 修司、平山 光子、崎山 恵子 〔随行〕 松尾 英樹
<b>6. 考察</b> 別紙のとおり  以上のとおり、報告いたします。  令和2年1月28日  報告者 <u>島野 知洋</u>  大牟田市議会議長 殿

## 【別紙】

山口県 山口市

【人口】 198, 727人

【面積】 1023. 23 k m<sup>2</sup>

山口市は、山口県の中央部にあり、北部の中国山地から南は瀬戸内海に面し、東は防府市、周南市、西は美祢市、宇部市、北は萩市、島根県の津和野町等に接している。平成の大合併で県央中核都市を目指し、平成17年10月1日に近隣4町(小郡町、秋穂町、阿知須町、徳地町)と合併。さらに平成22年1月16日に「広域県央中核都市」の創造に向け、阿東町を合併し、県内最大の面積となった。広域交通網が四方に走り、県内の主要な都市には1時間以内で移動が可能。県央7市町の連携中枢都市圏を形成し、高速自動車道、山陽新幹線や山口宇部空港といった交通網との接続もよく、広域交流の拠点となっている。室町時代に大内氏が京を模して築いた歴史ある山口は「西の京都」と呼ばれ、また明治維新の舞台であり、当時の面影を残す史跡も点在する。湯田温泉、SLやまぐち等と観光も力を入れ、周辺の萩、津和野等と周遊性を持たせて連携強化し取り組んでいる。

### 【視察事項】 議会だよりのリニューアルについて

#### 【やまぐち市議会だよりの発行要領】

##### 1. 名称

やまぐち市議会だより

##### 2. 発行回数

- ・通常：4回／1年 2月1日・5月1日・8月・11月15日
- ・臨時：改選後の議会組織が決まり次第、速やかに発行

##### 3. 掲載事項

議会運営に関するもの(議案請願の概要・結果・質疑質問や答弁の概要など)

##### 4. 体裁

A4版2色刷り(表紙・裏表紙は4色刷り)の16ページ建て(臨時号は4ページ)75,500部発行(情報コーナーへの配架、予備を含む)

##### 5. 編集委員

市議会だより等編集委員会を組織。編集委員は12名(基本は会派から3名につき1名選出)任期は2年

A班…表紙、質疑質問のページ、議会からのお知らせページ、裏表紙の10ページ分を担当。副編集委員長(班長)+4名(班員は輪番制とする)

B班…議案、委員会等の6ページ分を担当。編集委員長(班長)+6名(班員は輪番制とする)

##### 6. 配布対象・配布方法

市報とともに自治会を通じて各戸配布

### 【発行にかかる経費】

令和元年度予算 3,853,520円(落札額 3,412,600円)

契約内容は印刷データの作成(デザイン含む)、印刷、梱包、配送までを含む。

### 【リニューアルまでの経緯】

平成30年6月 改選後、新体制となった広報公聴委員会において、過去からのフルカラー化などの懸案事項の協議を開始

平成30年11月 広報公聴委員会から市議会だより等編集委員会に見直しの意見を集約

平成31年2月 集約した意見から見直しの方針を確認

目標「市民が読みたくなる広報」

- ・手にとって読みたくなる。
- ・親しみやすい。
- ・わかりやすい。
- ・さらに読み進めたいくなる。
- ・おもしろい。役に立つ。当事者感覚がわく。
- ・紙面に掲載されていない情報も知りたくなる。
- ・議会、市政への関心が高まる。

方針

#### ①計画的な紙面構成

掲載内容を精査し、ページごとの紙面割を固定化する。

#### ②議会だよりと市議会ウェブサイトの連携

全てを載せずQRコード等の活用によりウェブサイト連携する。

#### ③読みやすさ・わかりやすさの向上

文字を減らし、写真・イラスト・図表をふやす。余白を生かす。

#### ④市民とともにつくる

取材や意見募集、写真やイラストの公募等、市民が参加できる環境の検討。

令和元年8月 市議会だよりリニューアル号発行

### 【リニューアル後の編集作業】

4回の編集委員会および班別協議を開催

- ・第1回…スケジュール、担当確認等(定例会一般質問初日)  
一般質問部分は登壇議員本人が記事作成
- ・第2回…掲載記事の決定、担当者の決定
- ・第3回…記事の校正
- ・第4回…仕上がり確認 ※次号表紙画像撮影者の選定

### 【質疑応答で出た項目】

- ・伝えたいことを詰め込み過ぎてはいけない。
- ・リニューアルに伴い文字数が減ったのでどこを削るのが大変。市民にどんなやり取りをしたかを伝える。
- ・審議議案が簡素化された。見にくかったので分かりやすくなったとの声。会派制であり、個人賛否をしっかりと見せた方が情報発信できる。
- ・表紙写真は人の営みや小学校の運動会、体育大会など。許可取りの仕組みをつくりコミュニケーションをとっていく。
- ・次号の取り決めをすることにより、時間に余裕ができ、先に取材に行くなど取り組めるようになった。
- ・リニューアルに伴い以前より事務局職員の作業工程が1回分増えた。

### 【所感】

- ・議会だよりのリニューアルに際し、かなりの時間を割き協議検討をされている。実際に紙面を拝見するとそれが伝わる内容であると思った。
- ・文字数を減らすことは伝える内容を減らすことであり、大きな決断であったと思う。「市民が読みたくなる広報」を目標に、熱意ある担当者で事業を進められ、本気度を感じた。
- ・文字減を補うため、ピクトグラムやイラスト画像、図表などを効率よく配置し、読みやすさ伝わりやすさに努められている。掲載内容のページは固定しているが、毎号構成を工夫されていると感心した。
- ・本市にとっても「市民が読みたくなる広報」は目標であるので、是非とも持ち帰り生かしていきたい。今後の取り組みを考えるうえで参考になった。



